

家庭科学習指導案

5年2組 27名 指導者 飯山 灯

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 実践意欲を高めるために、野菜サラダ作りを通して、家族への思いや工夫したことを友だちと伝え合う活動は効果的であったか。

1 題 材 身の回りを見つめてみよう「かんたんな調理をしてみよう」

2 指導計画（総時数6時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
見 つ か 通 む す ・	1 家庭生活を見つめ、野菜サラダ作りについて話し合う。 【関：調理に関心を持ち、進んで食生活に活用しようとしている。】	1
	2 野菜サラダの作り方を調べ、実習計画を立てる。 【知：食品や調理用具の安全で適切な扱い方や簡単な調理法が分かる。】	1
確 調 か べ る ・	3 実習計画を基に、野菜サラダを作る。 【技：食品や調理用具の安全で適切な扱い方や簡単な調理ができる。】	2
	4 自分の作った野菜サラダに込めた思いや工夫点をワークシートにまとめる。 【知：食品や調理用具の安全で適切な扱い方や簡単な調理法が分かる。】	1
生 生 か 活 す に	5 自分の作った野菜サラダの工夫点や野菜サラダに込めた思いについて考えることができる。 【創：野菜サラダ作りの工夫点や野菜サラダに込めた思いについて考えている。】	1 (本時)

3 本 時（総時数18時間 第1次の6／6）

(1) 目 標

野菜サラダ作りで、工夫したことや家族への思いを友だちと伝え合う活動を通して、実践意欲を高めることができるようにする。

(2) 評価規準

野菜サラダ作りの工夫点や野菜サラダに込めた思いについて考えている。

【生活を創意工夫する能力】

(3) 指導に当たって

本時は、家庭生活での実践意欲を高めるために、野菜サラダ作りで発見した調理のこつや工夫、家族への思いを説明する学習である。

「つかむ・見通す」過程では、野菜サラダ作りの写真を提示し、これまでの学習を振り返り、野菜サラダに込めた思い、使った野菜、自分なりに工夫したことなどの発表の観点を確かめる。また、見通しをもって活動できるように、発表用ワークシートを使って、発表の仕方を確認するようにする。

「調べる・確かめる」過程では、友達の前で発表し、認められることで自信が付き、家庭での実践につなげるために、小グループごとに発表の観点に沿って、一人ひとり発表を行う。友達の発表を聞く際には、友達の工夫しているところ、使った野菜や調理方法の自分との共通点・相違点などをワークシートに書き込むようにする。友達の野菜サラダ作りの工夫や思いについて気付いている子どもには、家での実践や他の野菜を使ったサラダについて考えるよう助言する。また、気付いていない子どもには、「野菜の切り方はどうだったかな。」「盛り付け方はどうだったかな。」など助言し、考えを引き出すようにする。小グループでの発表の後に全体発表を行い、板書にまとめていくことで、友達の実践から自分の生活に生かせそうなことを考えることができるようにし、より実践につなげることができるようにする。

「生活に生かす」過程では、本時の学習を振り返り、これから家庭で生かしていきたいことをまとめ、実践への意欲をもつことができるようにする。さらに、今後、家庭で家族のためにオリジナルのサラダ作りを行うことを伝え、自分が家族のためにできることを増やし、家族の一員として役立てる喜びを味わうことができるようにする。

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価	
5	つかむ・見通す	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妹が喜びそうなサラダが作れた。 ・盛り付けが色どりよくできた。 ・せん切りの太さがばらばらだった。 <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>家族へおくるマイ野菜サラダについて、自分の思いや工夫したことを発表しよう。</p> <p>3 発表の観点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さん元気もりもりサラダを作ったよ。 ・家族の健康を考えて野菜たっぷりにしたよ。 ・お姉さんの好きなトマトとキャベツを使ったよ。 ・きゅうりを輪切りにしたよ。 	<p>事前に発表の観点別にまとめたワークシート、写真、調理器具等を準備しておき、前時までの工夫したところや課題について振り返ることができるようにする。</p> <p>④ 写真（サラダ作りの活動の様子） ④ 調理で用いた野菜・調理器具</p> <p>発表の観点を板書で提示し、観点に沿って発表することのよさを想起させることで、野菜サラダの名前、野菜サラダに込めた思い、使った野菜、工夫したことを発表できるようにする。</p> <p>④ 発表用ワークシート</p>
		<p>4 「マイ野菜サラダじまん発表会」を小グループごとに行う。</p> <p>〈発表するとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの好きなにんじんを使ったサラダを作りました。 ・弟がピーマンを食べてくれるように、小さく切ってみました。 ・お花の形に盛り付けをしてみました。 <p>〈発表を聞くとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのサラダは色どりがきれいだな。 ・ピーマンはどうやって切ったのかな。切り方を知りたいな。 <p>5 全体発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんの作っているキャベツを使って作りました。 ・お兄さんの受験勉強を応援する気持ちを込めて盛り付けました。 ・おばあさんにも食べやすいように野菜をやわらかくしました。 <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>今日の発表を生かして、家でも野菜サラダを作ってみよう。</p>	<p>小グループで、一人ひとり発表し、意見交換をしたり、アドバイスしたりして、自分の発表内容を見直すことができるようにする。</p> <p>④ 本時用ワークシート</p> <p>ワークシートを観点別に記入できるよう工夫し、友達の工夫点をワークシートに書き込み、自分の考えを整理することができるようにする。</p> <p>※ 野菜サラダ作りの工夫点や野菜サラダに込めた思いについて考えている。 (ワークシート・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えることができている子どもには、家での実践や他の野菜を使ったサラダについて考えるよう助言する。 ○ 戸惑っている子どもには「発表の観点」を振り返らせ、助言する。 <p>発表したことを板書でまとめることにより、友達の発表から自分の家庭実践に役立つ工夫を見付けることができるようにする。</p>
7	生活に生かす	<p>7 本時の学習を振り返り、これから家庭で生かしていきたいことをまとめ、実践への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日に家族に作ってあげよう。 ・赤・黄・緑のバランスをよくしよう。 ・切り方を工夫しよう。 ・〇〇さんの考えを取り入れてみよう。 ・今度は、別の野菜を使ってみよう。 ・特製ドレッシングを作ってみよう。 	<p>ワークシートに本時の振り返りを記入し、発表することで、観点をもって活動することのよさを実感させ、実践への意欲につなげていくようにする。</p> <p>本時の発表やまとめ方を賞賛することで、学んだことを生かして、家族のための「オリジナルサラダ」作りの実践意欲を高めることができるようにする。</p>